

公立甲賀病院の CT 検査装置のご紹介

キヤノンメディカルシステムズ社製の Aquilion ONE (320 列・2019 年 3 月稼働) 及び Aquilion PRIME (80 列) を使用しております。

以前の装置との違いをいくつか紹介します。

まず初めにガントリの開口径が 72 cm から 78 cm と大きくなりました。これにより腕を上げることができない患者さんに対して、負担の少ない検査ができるようになりました。

2 つ目に検出器の列数が多くなり、一度に撮影出来る範囲が 5 倍広くなりました (32 mm → 160 mm)。この恩恵は特に心臓領域で大きく、160 mm の撮影範囲は 1 心拍で冠動脈撮影を終えることが出来ます。また、スキャン速度も 1.2 倍以上速くなっており、さらに短時間撮影が可能となりました。

3 つ目に管電流の出力が増加し、それにより低管電圧撮影が比較的体格の大きな患者さんでも可能になりました。低管電圧で撮影することにより、少量の造影剤で従来と同等のコントラストを持たせた画像が得られます。

4 つ目に AI 技術を用いた再構成ができるようになりました。最近話題の Deep Learning 技術を再構成に用いることにより、少ない線量でも診断可能な画像を提供することができます。

最後になりますが、最新のこの装置を使って、質の高い医療を提供できるよう尽力いたします。

また、3D 画像処理装置には FUJIFILM 社製 VINCENT・キヤノンメディカルシステムズ社製「Vitrea」を使用して画像処理を行っております。

